

やまだ加奈子の

# 活動報告



## 地域整備要望

●**滝野川2丁目都営住宅建替え**…平成22年4月より2期にわたり4棟が建て替えられます。建て替えに伴う入居者移転に対し、十分に丁寧な対応を求め、また設計・緑化などについてまとめた滝野川2丁目都営住宅、建て替えに関する要望書を東京都都市整備局へ都営住宅自治会と属する馬場自治会と提出して参りました。東京都としても大変、前向きな対応をしていただき、入居者や地域の声が反映された建て替えになると思います。工事中、周辺の皆さんにはご負担をお掛けしますが、安全に竣工できるように東京都へ要望して参ります。



山口局長へ加藤馬場自治会長、高木けい都議と共に。

●**道路補修、塀の安全改修**…区道や私道の下水道、道路の補修を行っています。右写真…駅への道、通学路と通行が多いが急な坂道で老朽化が激しく、凸凹につまずき、ケガをされる方までいました。また右手、国施設の塀が老朽化に対し、安全策を施しました。



道路補修後  
補修前

## 安心まちづくり

●**まち歩き**…西ヶ原まちづくり協議会開催20回を記念し、特別講師：東京大学の今井教授による「安心まちづくりマップを作る」まち歩きとミニ講演が開催されました。参加者が2グループに分かれ、車いすを使いながらまちを歩いてみる…そこで感じた危険や不便をパソコンを駆使し地図に記し、「安心まちづくりマップ」を完成させました。普段では感じない段差や傾斜、危険物を発見しました。これからの高齢化社会を踏まえた、安全で安心なまちづくりが大切だと改めて感じました。



## 少子高齢化対策

●**少子高齢化対策研究会**…少子高齢化対策研究会—都議会自民党では少子・高齢化政策推進本部と子育て政策推進部が置かれ、政策研究を行っています。この機に、子育て支援と高齢化対応の政治や政策の課題について、国政と東京都そして地方自治が連携を図るべく、都議会議員を中心とした研究会が、猪口邦子元衆議院議員を発起人として12名で発足、これまで与謝野馨衆議院議員や内田茂元都議会議員との懇談など2回の会合が持たれました。区民、国民に一番身近な地方議員として、現場の声を東京都や国政届けて参ります。また、国や東京都の動向などを地域に発信していきたいと思ひます。

## 外語大跡地利用

### 公園

●**ビオトープ**…9月より進められていたビオトープ工事が10月31日、ビオトープ準備会メンバーと地域の子どもの植栽作業で完了しました！これまで1年に渡る、ビオトープ準備会メンバーによる設計ができあがり…感動でした。これからは生物が住む環境づくりとして、より自然に近づきよう見守ることになります。

●**オープニングイベント開催**…2010年4月、公園のオープニングイベントが開催されます。通常区営公園の場合、式典のみが多いのですが、この公園では一部で式典そして二部で地域の方によるオープニングイベントの開催となりました。地域の方からのお声も多く、私も皆様のご意見をいただき、議会で予算措置の要望するなど係わらせていただきました。現在、開催に向け隣接町会長を中心とした「開園イベント実行委員会」が立ち上がり、協議が始まりました。



### 住宅棟

●**住宅棟竣工**…357戸の賃貸住宅が12月竣工。入居者の町会加入について等、予てより懸案となっており、私も議会の中で、北区として条例に則り、マンション事業主に指導をするよう要請に努めて参りました。近隣町会長、マンション事業者の伊藤忠都市開発、北区が協議の結果、西ヶ原西谷戸自治会への任意での加入受け入れが決まりました。地域と新しい住民がお互いに協調、協力しながら安心・安全の街づくりに取り組んでいく第一歩となりました。



マンションエントランス

## 視察

●**東京都議会を見学・傍聴**…地域女性の会「すずらん会」の皆さんと、東京都議会の傍聴と都庁見学ツアーを開催しました。本会議場～特別委員会室～都庁防災センター～特別来賓室～食堂、議員席での昼食～本会議の傍聴～展望室と職員の説明を聞きながら回る半日コース。またこの日は本会議開会中で議員による一般質問が行われており、本会議場での議員と石原都知事やその他理事者のやり取りに「面白かった！」との声。今後も、北区議会での傍聴案内を企画するなど、議会や政治を身近に感じていただける、そして参加していただけるように、努めてまいります。

●**区民生活委員会行政視察**…鹿児島市、商店街振興施策「宇宿商店街」を視察。大型店出店による影響を逆に活力として商店街が結束、国や県補助金制度を様々活用した事業を継続的に行い、活性化に励んでいます。独自で作る「まちの駅（高齢者の交流の場）」や毎月開催のフリーマーケット、大学とのコラボ企画で街並みづくり、音楽の放送、商店街での子どもの見守り等々。面白いのは「中学生商人選手権」…商店主がアドバイザー役となり、企画から仕入れ、販売まで全て中学生が考え、商店街にお店をオープンさせ、3時間の販売時間で成績を競うもの。参加後、将来の～屋さんになる！という生徒もあり、将来の商店街担い手づくりにもなっている。高齢化が進む中、歩いて買い物に行ける、顔が見える商店街は重要な存在。だからこそ、子どもから高齢者の喜んでもらえる商店街づくりに励んでいると、理事長の熱意には感動をしました。市の支援策も含め、区政に反映していきたいと思ひます。



❀ ご意見・ご要望をお寄せ下さい。❀